

徳川園 四季めぐり



夏の陽ざしを受けて輝く龍仙湖。
大曾根の瀧や龍門の瀧に一服の涼を感じるひととき。
花菖蒲は次々に花卉をひろげ、
徳川園の夏の花々が爽やかに咲き競います。



シモツケ【下野】
5月下旬～6月中旬



ヤブミョウガ【ヤブミョウガ】
6月下旬～9月上旬



ハングেশョウ【半夏生】6月上旬～7月上旬
夏至から11日目(7月初め)のころに葉が白くなることから、この名前がついたといわれる。また、最上部の2～3枚の葉が白くなることから、「半化粧」の字があてられることもある。



クチナシ【梔子】
6月中旬～6月下旬



ムラサキシキブ【紫式部】
5月下旬～6月下旬



ヤマアジサイ【山紫陽花】
5月下旬～6月下旬



ヤマモモ【山桃】
6月下旬



サルスベリ【百日紅】
7月中旬～9月中旬



ホオズキ【鬼灯】
7月中旬～8月下旬



ハス【蓮】
7月中旬～8月中旬



ギボウシ【擬宝珠】
5月中旬～6月下旬



ヤブカンゾウ【藪草堂】
6月下旬～7月中旬



スイレン【睡蓮】
5月中旬～9月中旬



ハナショウブ【花菖蒲】6月上旬～6月中旬
ノハナショウブから改良された園芸種。古来から鑑賞されてきたようだが、実際に栽培が行われた記録は寛文年間(1661～73年)で、尾張藩主徳川光友が江戸屋敷戸山荘にハナショウブやカキツバタを植えて鑑賞したのが最初。その後、江戸系、伊勢系、肥後系の3つの系統が確立された。徳川園では江戸系をおよそ50品種、1700株が栽培されている。

気候によって見頃の時期は前後します。